

第2回研修会

1 趣旨

学校関係者と地域関係者が一堂に会し、学校・家庭・地域の連携の意義について理解を深めるとともに、実践事例の紹介や協議等を通して、「地域協育ネット」の一層の推進を図る。

2 日時・会場

10月20日（土）13：30～16：40 山口県セミナーパーク

3 参加者

「地域協育ネット」実践協力校区等学校関係者、「地域協育ネット」実践協力校区等学校運営協議会関係者、コーディネーター等・地域関係者、公民館職員、県・市町行政関係者 合計 203人

4 研修会テーマ

「『地域協育ネット』の推進に向けた次なる一手」

5 研修会の内容

(1) 学校運営協議会部会（参加者 103名 19班）

- ① 事例発表：田万川中学校区（萩市）、東和中学校区（周防大島町）
- ② 指導助言：指導助言者 京都市教育委員会指導部学校指導課 首席指導主事

○ コミュニティ・スクールの成果

- ・図書館ボランティア、授業支援ボランティアなどボランティアが広がる。
- ・活動を通して、地域住民の学校への理解が深まる。
- ・地域住民が学校を好きになる。学校を誇りとする。
- ・地域全体で、9年間で育てる体制を構築できる。
- ・共に助け合う姿や力を合わせる姿を子どもに伝えることができる。

○ 山口県「地域協育ネット」のよさ

- ・中学校区での運営を意識
- ・既存の組織を生かした運営
- ・コーディネーターの存在

○ コミュニティ・スクールの今後の方向

- ・自分たちの地域のメリットをつくり出す意識が大切。
- ・「人の役に立ちたい思い」を生かす組織にしていきたい。

